

災害に備えて、日頃から認識しておいてほしいこと



日頃の備え

※家具等の固定、ガラスに飛散防止フィルムを貼る、感震ブレーカーや火災報知器の設置

※緊急連絡先の決定、『さんだ防災・防犯メール』・『三田市公式LINE』への登録

※枕元すぐに取り出せる場所にヘルメット・靴・手袋・懐中電灯などを保管

※非常持ち出し袋（バッグ）の準備（あると便利なものではなく、ないと困るものを準備）

→ 持ち出し品リストを作り、いつもの在り処を記入 → すぐ袋に収納できる

※備蓄品（電気・ガス・水道・通信が途絶えた場合を想定しましょう）

→ 飲料水は1人1日3リットルを目安に最低3日分

→ 食料は普段食べている加工食を中心に家族の好物も加えて、少し多めに

購入し、使用しながら、半分程度になつたら補給する ➡ ローリングストック

※災害が起きて、家に被害があった際、直接小学校や中学校には行かない

（自治会の指示に従いましょう）



災害が起きたら



まず**自分と家族の安全確保**、隣近所の確認、協力して消火活動・救助活動、要支援者の状況確認等

※『無事カード』を門扉等の表から見える場所に張出す

※落ち着いたら、班長などの指示にしたがって、区・自治会避難所で安否確認

※区・自治会避難所（各自治会が定めている公園や集会所等）⇒**集合場所**



地区名	区・自治会避難所(集合場所)
富士が丘1丁目	1丁目児童公園、車池公園広場(遊具側)、富士小通用門前、メロディ1番館南側公園
富士が丘2丁目	富士が丘コミセン(車池公園)
富士が丘3丁目	ディアコルモ2F駐車場、県住駐車場、3丁目児童公園
富士が丘4丁目	富士小正門、富士中正門
富士が丘5丁目	5丁目児童公園
富士が丘6丁目	6丁目児童公園
池尻区	池尻さつき会館
上深田区	上深田公会堂



避難するときは

避難所へ避難する時（自宅で生活できない状況）

※家を空ける時は、ブレーカー落とし、ガスの元栓を閉める

※『無事カード』に避難先などを記載（災害用伝言ダイヤル(171)の利用）

※要支援者の避難支援（お互いに声をかけあって）

※避難用バッグに貴重品・着替・最低3日間の非常食等を詰めて

※ペットは、**ひとまず自宅**に残しておき、状況が分かつたら同行避難する

※自宅で生活できる場合は、**在宅避難**を検討しましょう

→救援物資は、在宅避難者にも配布されます

→**避難所は決して快適な場所ではありません**

→親戚や知人宅への避難（縁故避難）も検討しましょう

